



1. さまざまな健康器具を原則無料で使用可能 / 2. 旧白根小学校を利活用し令和4年にオープン / 3. バドミントンなどができるコートを2面完備 / 4. ボルダリングができる場所は希少！

今月のナビゲーター

きとう たかゆき
佐藤 孝之 さん

(白根地区健康都市推進協議会)



コレクション
伊達な魅力 Collection
「ウェルネスサロン白根」



本コーナーでは、伊達市の魅力をテーマごとにお伝えてしていきます。今回は「ウェルネスサロン白根」。魅力を知り、あなただけの好きなものを見つけに行きましょう！

佐藤：地元の部活動から市外の個人利用者まで、市内外からたくさんの人にご活用いただいています。計画策定からオープンに至るまで、大変なこともたくさんありましたが、今では地域の交流の中心地としてご利用いただけてうれしいです。



市長コラム 第77回

「やさしい日本語」

過去の
コラム

須田博行



皆さんは、普段、難しい日本語を使っていますか。

先日、伊達市国際交流協会主催の講演会で「やさしい日本語」についてお話を聞きましたのでご紹介します。

2023年12月末現在、福島県内には、人口の約1パーセントにあたる約1万8000人の外国人が暮らしています。出身の国・地域も100を超え、話す言葉も、中国語、英語、韓国語、ベトナム語などさまざまです。

福島県では、県内に住む外国人に対し、「理解できる言語」についてのアンケートを行っています。「英語」との回答が多いと思

いきや、約74%の人が「日本語」と答えています。簡単な日本語なら分かる外国人の人たちが増えているということですね。ですから、外国語で話さなければ、と身構えず、まずは日本語で「こんにちは」と話しかけてみてください。楽しい会話が始められると思います。

さて、そこで大切なのが「やさ

しい日本語」を使うということです。そのポイントは、①簡単な単語で、一つの文を短くすることで

す。「地震が発生したので、火元確認をして避難してください」。これを「地震です。火を消してください。逃げてください」と言い

ましょう。②二重否定やあいまいな表現は避けることです。「ないことはない。できないことはない。間違いではない」。これを「あります。できます。正しいです」と

言いましょう。どうしても日本人は、含みを持たせた話し方をしがちです。これでは外国人に伝わら

りづらく誤解を招きます。私たちは、無意識に日本語を難しくしているのかもしれない。外国人に伝わらないばかりでなく、日本人同士の意思疎通さえ

困難にしていることもあります。実際には、ストレートに話すことが難しい場面もありますが、できるだけ簡潔に、わかりやすい話し方をするので、円滑なコミュニケーションにつながると

思います。